

平成26年度予算見積調書

課室名：産業支援課
 担当名：産学連携・新エネルギー産業担当
 内線：3917 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B24	先端蓄電システム研究開発プロジェクト推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	平成25年度～平成27年度	根拠法令	なし				戦略項目	07 世界水準の中小企業		
							分野施策	030102 新たな成長を導く次世代ビジネスの振興		
<p>1 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの地産地消を進めるには、蓄電池の高性能化や蓄電池を運用したスマートグリッドシステム技術の確立が必要不可欠である。 ・そこで、県内中小企業と大学との連携により推進する先端蓄電池及びエネルギーの最適利用を図るスマートグリッド蓄電システムの研究開発に対し補助を行う。 ・いち早く実用化を図り、蓄電池及び蓄電システム産業への県内中小企業の参入を促進する。 <p>(1) 先端蓄電システム研究開発プロジェクト推進事業 157,294千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>平成25年度に「新産業研究開発プロジェクト推進事業」にて公募により採択し研究開発拠点の整備を進めた先端蓄電池及び蓄電システムに係る研究開発プロジェクトについて、研究開発拠点の拡充及び研究開発の推進のため、補助を行う。</p> <p>ア 補助事業者 早稲田大学、三菱電機、新神戸電機、県内中小企業5社</p> <p>イ 研究開発拠点 本庄早稲田国際リサーチパーク</p> <p>ウ 研究開発内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数住宅向け定置用リチウムイオン電池の開発 実効容量2倍・長寿命・高安全性を実現する複数住宅向けの大型定置用蓄電池を開発する。 ・スマートグリッド向け蓄電システムの開発 既成市街地にも適用可能なエネルギーの最適利用を図るスマートグリッド蓄電システムを開発する。 						
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>				<p>(2) 事業計画</p> <p>ア 平成26年度事業費 研究開発経費補助金 150,650千円、コーディネーター設置費補助金 6,144千円、事務費 500千円</p> <p>イ 全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度 研究開発拠点の整備、研究開発開始 ・平成26年度 研究開発拠点の拡充、研究開発実施 ・平成27年度 研究開発実施、エコタウン地内での実証実験実施、開発製品の完成 (・平成28年度 開発製品の生産体制整備) (・平成29年度 スマートグリッドシステムの生産・販売) 						
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円</p>				<p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発に県内中小企業の参画を得ることにより、蓄電池及び蓄電システム産業への参入促進と技術競争力の強化が図られ、本県産業が活性化する。 ・先端蓄電池及びスマートグリッド蓄電システム等の埼玉発の実用化モデルを発信できる。 						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
決定額	157,294	繰入金							81,544	
前年額	75,750							75,750		